

教育基本目標

人間尊重の精神を基盤として、豊かな心と健やかな体を持ち、創造的に考え、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる明治の子の育成を図る

教育具体目標

よく考え
進んで学ぶ子

あたたかい心で
助け合う子

じょうぶで
明るい子

指標をもとに具体目標を目指す方向で整理していきたい。

新学習指導要領の「資質・能力3つの柱」をもとに、本校における資質・能力を設定し育成していく。

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

新学習指導要領の「資質・能力3つの柱」

(学習指導)

○自分の考えや思いを表現できる力 (表現力)

(児童指導)

○自分のやるべきことを理解し自ら取り組める力 (自律性)

(安全指導)

○主体的に危険を回避する力 (判断力)

(全般)

○多様な人と協働していくことができる力 (コミュニケーション力)

安心・安全
地域との連携
特別・個別支援の充実

教科横断的な視点
(学習指導)

PDCAによる改善
(学校評価を軸に各分掌)

人・物・金・時間の改善
(教頭)

資質・能力を育成するために、カリマネの3視点から見直していく。各担当が中心となってカリマネを行っていく。

3視点をもとに、各部、各分掌・各学年で試行していく。それらの実践を教務主任が中心となって教育課程に反映する。

教育課程編成 (教務主任)
教務主任を中心に各分掌・学年によるPDCAを反映してつくる。

学年や教科の指導計画 (学習指導主任・各学年主任)
○学年の指導計画 (横断的な授業づくり) ○年間計画に反映

学習指導主任を中心として、年間計画に反映していく。

学校運営協議会で教育課程に関してご意見を伺い改善することで、地域に開かれた教育課程の編成を行う。学校評価を中心にPDCAのサイクルで見直しをしていく。